

# 筆 跡

(題字) 森岡恒舟  
 発行所: 日本筆跡診断士協会  
 発行人: 森岡恒舟  
 編集人: 内田昭雄  
 所在地: 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-8-9 松本ビル 3F  
 Tel: 03-3837-7531  
 Fax: 03-3837-7621  
 購読年会費 (隔月刊): 3000円

## 祖父ゆずりのワンマン型?

〜麻生首相のサインを診る〜

日本筆跡診断士協会会長 森岡恒舟

麻生首相が登場したが小澤一郎民主党首との決戦が迫っており、風雲急という状況下である。中山国交相が失言で就任草々に辞任するという出始めでのケチがつき、さて今後どのような展開して行くのだろうか。

新自民党総裁としての決意表明をした新聞広告の署名の筆跡から、麻生首相の深層心理の傾向、それから推定されるこれからの政治の動向について述べてみよう。



連綿型

頭部長突出型

起筆ひねり型

開空間広型

まず筆跡特徴の第一は連綿型である。安倍元首相、福田前首相と続いた連綿の少ないあつさり型の書き方に比し、線から線の移行が強弱織り交ぜながらしぶとく繋がっている。これは吉田茂首相の書風に似ているといえる。

小泉首相の連綿型は、細かい線などなく無理矢理続けるような強連綿型だった。政治姿勢も同じだったように思える。それに比し、吉田元首相は、ワンマン宰相で通ってはいしたが、かなり神経質な面があったように記憶する。

麻生首相は吉田元首相の

孫、性格的にはやはり似た一面もありそうだ。吉田元首相張りの連綿の他、強い起筆ひねり型、それから頭部長突出型がワンマン宰相の可能性を見せている。かなり意地っ張りで自己主張が強そうだ。

ただ麻生首相の連綿には、吉田元首相の連綿にはなかった特徴がある。それは吉田元首相の連綿は一字を、極めて強い続け字で書いて、そのまま次の字へ続くことがよくあった。それが麻生首相の署名の字では全然ないのである。

「麻」の字、続け字としての内部の運筆、線の強弱があり、空間分割が綺麗で、物事の処理能力も優秀のはずである。ところが次の字までは続かない。次の字は次の字で、前の字の流れを吹っ切って強い起筆で打出している。ポイントはどうもこのあたりにありそうだ。

一字一字はなかなか高度な連綿形、すなわち古典的な情に通じている。ただその情の通じ方が全て一字一字で途切れ、次の字の起筆がまた絶叫調のようでもある。このスタイルはどうもマンガチックで、国民受けするかどうかポイント。上手く乗れば第二のワンマン道路を作りかねない可能性もある。

## 新時代の書道!!

# 書 道

正統的な書法の学習と共に、歴史上の偉人達の筆跡を勉強し、人格的薰陶も受けようとするのが当学院の書道です。

単に字がうまくなるだけでなく書の上達が人間性の幅を広げ社会的諸能力の開発・向上につながることを目的であり、共感を持たれる方のご参加をお待ちしています。

### □通学コース

入会金 一万円  
 在籍料 六ヵ月 一万八千円前納  
 レッスン料 四千〜二千円

### □通信コース

入会金 五千円  
 月謝六ヵ月分 二万円前納

### □選択科目

一般コース、創作コース、師範取得コース、偉人の書、筆相道場硬筆、文部省検定受験コース等

相藝会書道教育学院

学院長 森岡恒舟

〒113-0034

東京都文京区湯島三十八-九

松本ビル3F

TEL 03 (3837) 7531

FAX 03 (3837) 7621